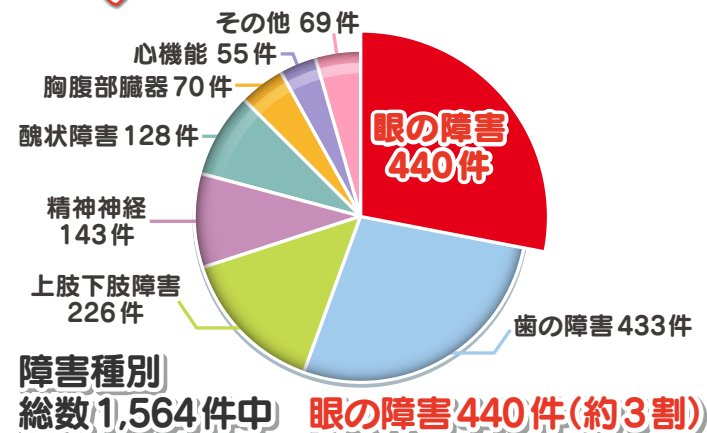


大切な眼をけがから守ろう!

チェックポイント

- 常にボールに意識をおく習慣をつけよう。
- ルールに即したボールの扱い方に慣れるようにしよう。
- 急なダッシュやストップ、方向転換といった身のこなし方を習得しよう。
- 倒れ方や受身の取り方を段階的に身につけよう。

こんなに多い眼のけが



眼・顔の保護具の使用も
オススメです!



用具と環境の整備を忘れず、集中してプレーしよう!

参考：平成28年度スポーツ庁委託事業 スポーツ事故防止対策推進事業『学校でのスポーツ事故を防ぐために 成果報告書』、映像資料DVD「スポーツ活動中の眼の事故防止と発生時の対応」

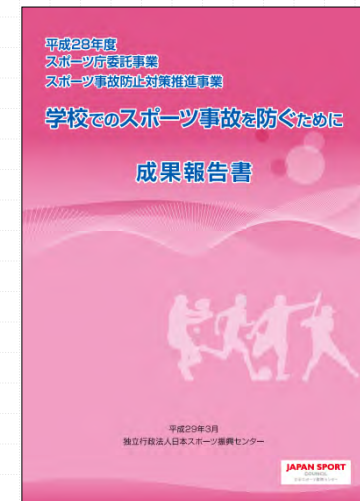
もし眼にもものが当たってしまったら…?

事故発生時の対応

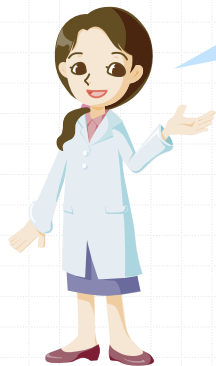
- ①眼を無理に開かせない。
- ②強く押さえない。
- ③外傷部分に異物が入らないように覆う。
- ④眼と眼の周辺を清潔に保つ。
- ⑤化学物質が眼に入った場合は、十分に洗い流す。



参考資料
(学校安全Webからダウンロードできます!)

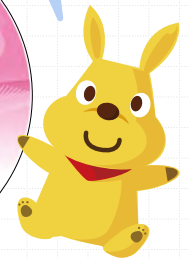


眼のけがは、痛みが強くなくても重症となる場合があります。
また、けがをした直後は痛くなくても、
帰宅後や数日後に異常が現れる場合もあります。
異変※を感じたときは、眼科を受診しましょう!



※「糸くずのようなものが飛んで見える」「ぼやける」「一部が見えなくなる」等

YouTube 配信中!



参考：平成28年度スポーツ庁委託事業 スポーツ事故防止対策推進事業『学校でのスポーツ事故を防ぐために 成果報告書』、映像資料DVD「スポーツ活動中の眼の事故防止と発生時の対応」